

杉戸町立広島中学校

福祉体験



第1学年

特色

教科横断的な視点で、社会科、道徳をリンクさせて総合的な学習の時間に実施した。町の福祉ボランティアの皆さんを指導者として招聘し、車イス体験、点字体験、身体不自由体験を行った。活動を通して人を思いやる心や体が不自由な人への援助の仕方を学習した。さらに、少子高齢化が進む地元を活性化させるためにどのようなことができるのかを探求的に学び、具体策を発表し合う活動を行った。

児童の感想

身体が不自由になるということを少しだけ実感することができた。さらに身体的に不自由な方々にどのような声掛けをすればいいのかがよく分かった。

町の発展のため何ができるのかを探求的に考えることができた。

成果

福祉体験を通して探求的であるということは、どういうことかを各自が考えるきっかけとなった。

人権意識を具体的に考える機会を与えることができた。

教科横断的な学習により、主体的・対話的で深い学びを追求することができた。